



ふくろう通信

第54号
2019年7月10日
自然博物園 ねいの里

蓮華の森自然歩道～花紀行～

自然塾の会

蓮華温泉へ入る車道が開通したばかりの6月23日、蓮華の森自然歩道の自然観察に出かけました。当日は曇り時々小雨の天気。ヒワ平ゲートから先は霧が立ち込め見通しがきかず、対向車にビクビクしながら蓮華温泉に到着。身支度を整え、濃い霧に煙る蓮華の森へ出発です。



ダケカンバの巨木を見上げながら…

自然歩道入口までの作業道で出会った年配二人連れと、テツカエデやオガラバナ、ハウチワカエデ、ミネカエデなどのカエデ談議に花を咲かせ、ツボスミレやオオタチツボスミレ、ミツバオウレン、テングクワガタが花盛りの道を進みます。平地では見られないオオバタチツボスミレも。



オガラバナ



テングクワガタ



オオバタチツボスミレ

ダケカンバの巨木を見上げながら兵馬ノ平湿原へ下る道沿いには、絨毯を敷き詰めたようにマイヅルソウが生い茂っています。湿原の入り口アヤメ平ではヒオウギアヤメが1輪出迎えてくれました（見頃はこれからのようです）。

兵馬ノ平の木道沿いはリュウキンカやミツガシワ、ハクサンチドリ、モウセンゴケなどでにぎやかです。



霧に霞む兵馬ノ平
これからオニシモツケや
オオバギボウシが咲きます。



リュウキンカ



モウセンゴケ



ヒオウギアヤメ

感激したのは、イカリソウに出会えたこと。県内で通常見かけるトキワイカリソウの白い花も清楚で可愛いです。イカリソウの赤紫の花は華やかで存在感がありました。

たいした雨にも遭わず、充実したいい観察会でしたよ。



クロベやコメツガの中をジャクナゲ尾根へ



オオサクラソウ



イカリソウ

【見てきた草花】 アズマシロガネソウ、イカリソウ、イワカガミ、ウワバミスウ、オオサクラソウ、オオバキスミレ、オオバギボウシ、オオバタチツボスミレ、オオバミゾホオズキ、オニシモツケ、キヌガサソウ、ギンリョウソウ、ゴゼンタチバナ、コバイケイソウ、サンカヨウ、シラネアオイ、ズダヤクシュ、タケシマラン、ツクバネソウ、ツバメオモト、ツボスミレ、ツマトリソウ、テングクワガタ、トリガタハンショウヅル、ノビネチドリ、ハクサンチドリ、マイヅルソウ、ミズバショウ、ミツガシワ、ミツバオウレン、ミヤマカラマツ、モウセンゴケ、ヤグルマソウ、ヤマトユキザサ、リュウキンカ

【見てきた樹木】 ウラジロウラク、オオカメノキ、オガラバナ、キタゴヨウ、クロベ（ネズコ）、コメツガ、コヨウラクツツジ、ダケカンバ、テツカエデ、トチノキ、ハウチワカエデ、ブナ、ホンジャクナゲ、ミネカエデ、ムラサキヤシオ

トンボの顔はどんな顔？

竹内 健心



皆様初めまして。今年度からねいの里に勤める事になりました、竹内健心と言います。少し、自己紹介をさせていただきます。

僕は小さい頃から生き物が好きで、今でも生き物観察に出掛けたりしています。昆虫などを、飼育しながら観察するのも結構好きです。生き物で特に好きなのは昆虫、爬虫類で、自宅では数匹のヘビと一緒に暮らしています。

今後、ふくろう通信の中で、色々な生き物の生態や面白い特徴などについて、随時紹介していきたいと思っています。これからよろしくお願い致します。

さて今回は、ねいの里に生息しているトンボの顔の面白さを紹介したいと思います。

「トンボの顔はどの種類も全部一緒な顔をしている」と皆さんそう思ってはいませんか？
実は、種類よってかなり違うのです。さて実際に比べてみましょう！



シオヤトンボ



ムカシヤンマ



クロスジギンヤンマ



ニホンカワトンボ

どうでしょうか、こうして比べてみると、トンボによって色々な表情が見えてきませんか？ビー玉やサングラス、宇宙人…。僕は見れば見るほど色々と連想してしまいます。

皆さんにはトンボの顔がどのような表情に見えるのでしょうか？見る人の感性で見え方はずいぶん違うでしょう。実際にトンボを手にとってみて、「どんな表情かな？」と顔を覗いてみましょう。また、周りの人や子供達と話してみるのも良いかもしれません。

トンボに親しみが湧いてくれば、新しい発見があるかもしれませんよ！

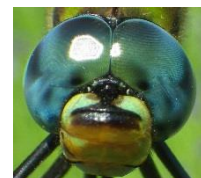
～顔で進化を辿る～



ムカシヤンマ



サラサヤンマ



クロスジギンヤンマ

顔を比べてみると、進化の歴史を辿ることが出来る生き物がいます。トンボもその1つです。写真を見ると両方の眼がだんだんくっつき、眼の面積も広がっているのが分かりますね。両方の眼の隙間が小さくなれば死角が少なくなり、眼が大きくなれば見渡せる範囲が広がるからです。

トンボの眼は見渡せる範囲が広がるように少しずつ進化しているんですね！

● (4月21日) 「 五感クイズで里山散歩 」



クイズに挑戦！解けたかなあー？

春の息吹を感じとりながら里山を散策しました。所々に設けられたクイズスポットでは、五感で感じとる問題も織り交ぜたクイズに挑戦しました。これは、クイズを解いてキーワードを集めると、ねいの里の宝物が分かるというもの

で、この時の宝物は《ホクリクサンショウウオ》でした。

また、途中で摘んだ野草をテンプラにして試食し、味覚で春を感じ取りました。

食べられるのはどれだろおー？



野草を摘んでいます



● (4月30日) 「 自然塾の会・春の大遠足 」



今回は婦中町ふれあい自然公園から古洞の森、高塚トンネル、藤ヶ池を回ってねいの里へ帰るといったコース。途中、道の法面にはきれいなスマリの群落がありました。また日本タンポポの特徴があるタンポポは、カントウタンポポのようでもありエゾタンポポのようでもあり。付近にはセイヨウタンポポもたくさんあるので、純粋な日本タンポポではないような気も。種の同定は難しい！！



● (5月5日、12日) 「 愛鳥週間バードウォッチング 」

愛鳥週間に合わせて行うバードウォッチング。

5日の早朝にねいの里で行ったときには、オオルリを見ることができ大満足。ハーブティの試飲も行いました。(用意したのはクロモジ、ドクダミ、ヨモギの三種。)

12日の野鳥の園(古洞の森)で行ったときは、過去の探鳥会で確認できなかったアオバトの確認ができました。また、ドングリ橋からはるか遠くの空に小さくハチクマが飛んでいました。遠いのにハチクマだと分かるのは、羽ばたき方に特徴があるからです。



きれいな声でさえずるオオルリ



ドングリ橋からみんなが見ているのは、カワウの営巣コロニー



【5月5日に確認できた鳥】 アマツバメ、イカル、(14種類) イワツバメ、ウグイス、オオルリ、キビタキ、サンショウクイ、シジュウカラ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、メジロ、ヤブサメ、ヤマガラ

【5月12日に確認できた鳥】 アオサギ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、(23種類) キンクロハジロ、コガモ、イカル、キビタキ、コゲラ、サンショウクイ、シジュウカラ、ツツドリ、ツバメ、トビ、ハシブトガラス、ハチクマ、ヒヨドリ、ホオジロ、ミサゴ、メジロ、ヤブサメ、ヤマガラ、アオバト

● (6月22日、29日) 「 ヘイケボタル観賞会 」



両日とも天気が心配でしたが、大した雨にもならず行うことができました。今回のミニコンサートは、フルートとバイオリンのデュエットもあり、30分と短い時間でしたが楽しんでおられたようでした。ホテルはオオガハスの池から

下では見られましたが、上ではほとんど見られなくなりました。池の環境が悪くなったのでしょうか？原因は分かりません。



ねいの里 これからの行事案内

● 7月28日(日)「雑木林探検・PART I」

9:00～12:30 集合場所：ねいの里

定員：30名 対象者：小・中学生(小学生は保護者同伴)

林業家による樹木の伐採を見学し、木の年輪観察や里山の再生について考えます。また、ロープを使用した木登り体験にも挑戦します。



● 8月11日(祝・日)「トンボの調査と標本作り」

9:30～12:00 集合場所：ねいの里

定員：20名 対象者：小・中学生(小学生は保護者同伴)

ねいの里のトンボを観察し、採取したトンボの標本作りを体験します。



● 8月24日(土)「水辺の生き物観察と外来生物への接し方」

9:30～12:30 集合場所：ねいの里 参加費：200円

定員：30名 対象者：小・中学生(小学生は保護者同伴)

魚や水生昆虫、トンボなどの水辺の生き物を採取し観察します。また、食用になる外来生物の試食も行います。



● 9月21日(土)「秋の鳴く虫観察とナイトウォーク」

16:00～20:00 集合場所：ねいの里

定員：30名 対象者：一般

バッタ類を採取し標本を作ったり、光に集まる昆虫を観察します。また、虫の声を聞きながら夜の森を散策します。



● 10月6日(日)「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」

9:30～12:00 集合場所：ねいの里

対象者：一般 キノコ鍋試食：300食(1食：200円)

園内でキノコを採取した後、専門家による鑑定を行います。

また、キノコ鍋の試食も行います。(喫茶コーナーもあります。)

***** 〈行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉 *****
受付開始は、行事实施の約1ヵ月前からになります。

■ 企画展

7月3日～8月4日 富山県自然保護協会環境写真展

7月13日～8月23日 県内のカブト・クワガタ展

8月8日～8月25日 環境月間ポスター展

8月24日～9月23日 秋の虫展

9月14日～11月24日 ねいの里キノコ写真展



○ 「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用します。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>